

2016年3月期 第2四半期決算説明会

2015年11月10日

日本光電工業株式会社

証券コード : 6849

<http://www.nihonkohden.co.jp>

第2四半期決算の概要 (連結)



1) 当第2四半期の決算概要

(単位: 百万円、単位未満切捨て)

	前第2四半期 累計 (2014/9)	当第2四半期累計(2015/9)			
		期初予想	7月31日 修正予想	実績	対前年同期増減率 (%)
売上高	72,023	78,500	74,000	73,498	2.0
国内売上高	55,695	—	—	53,285	△ 4.3
海外売上高	16,327	—	—	20,213	23.8
営業利益	5,502	6,000	3,500	4,219	△ 23.3
経常利益	6,096	6,000	4,000	4,401	△ 27.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,123	4,100	2,600	2,516	△ 39.0

← 変成器事業譲渡の影響除く:
△3.8%

← 為替影響除く: +9%

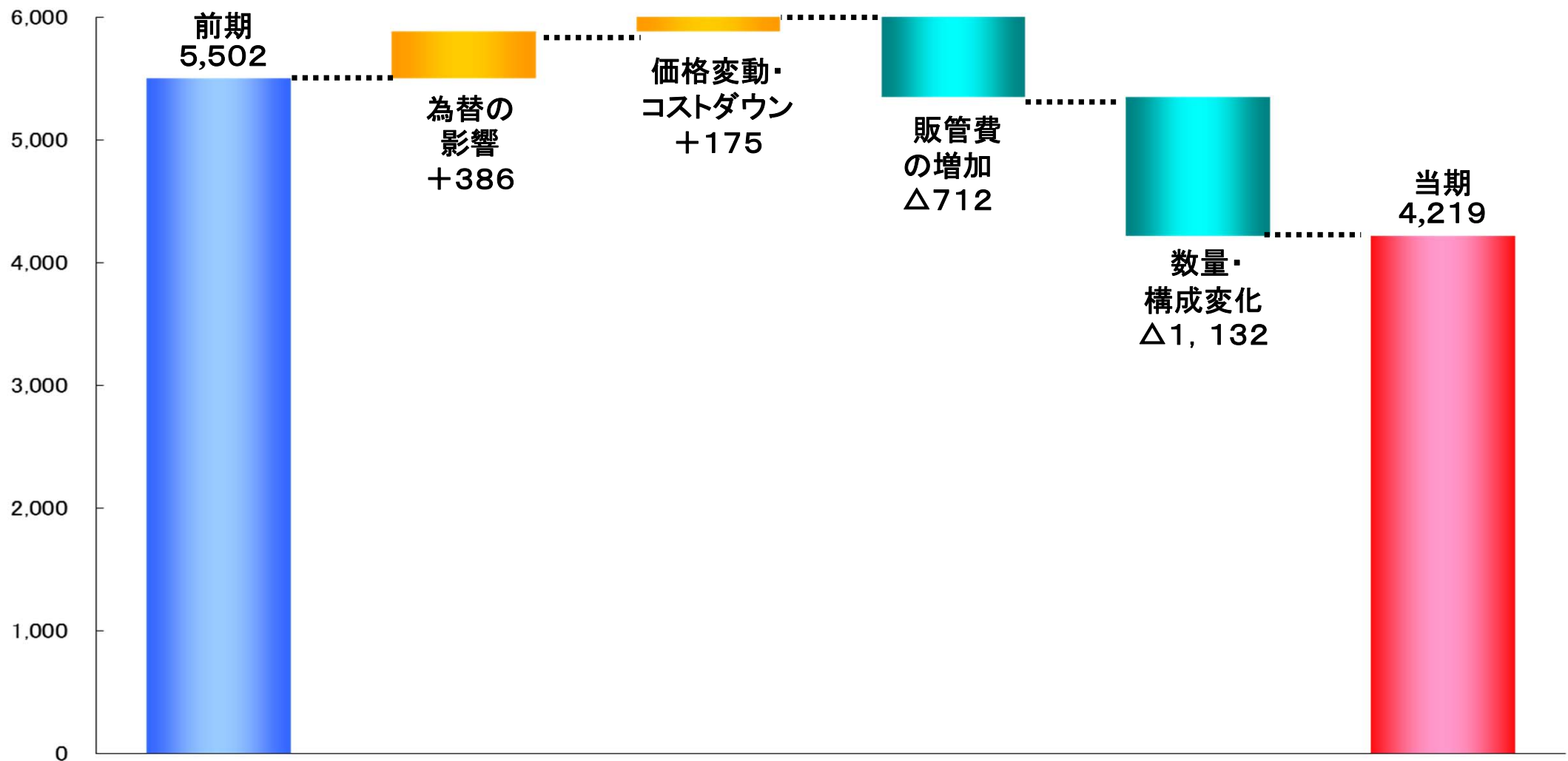
← 粗利率: 48.9% → 48.3%※
販管費率: 41.3% → 42.6%

※第2四半期会計では改善
粗利率: 47.6% → 48.8%

平均レート	(2014/9)	(2015/9)
1ドル	102.6円	121.6円
1ユーロ	138.9円	135.0円

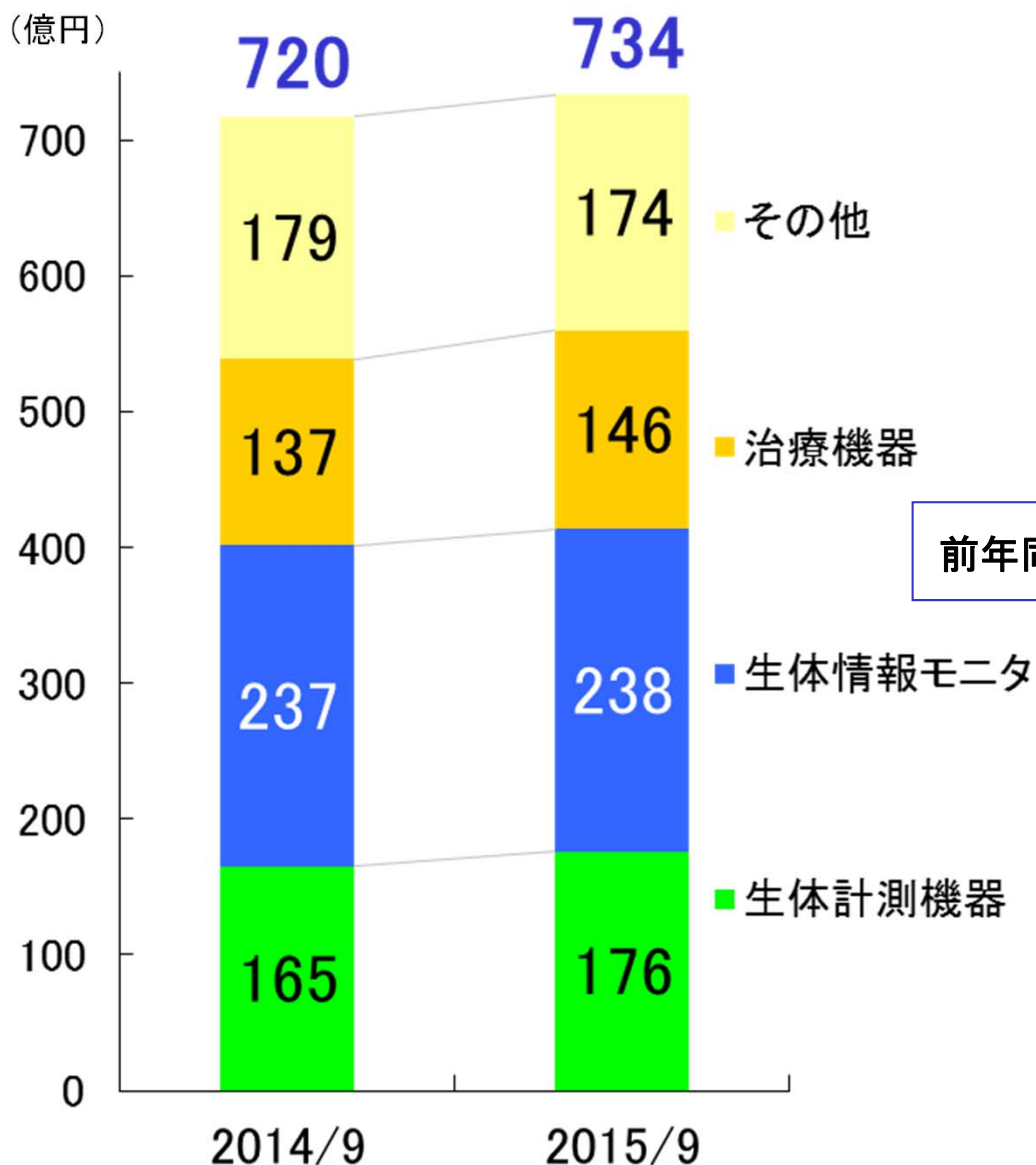
2) 営業利益増減の要因分析

(単位: 百万円)

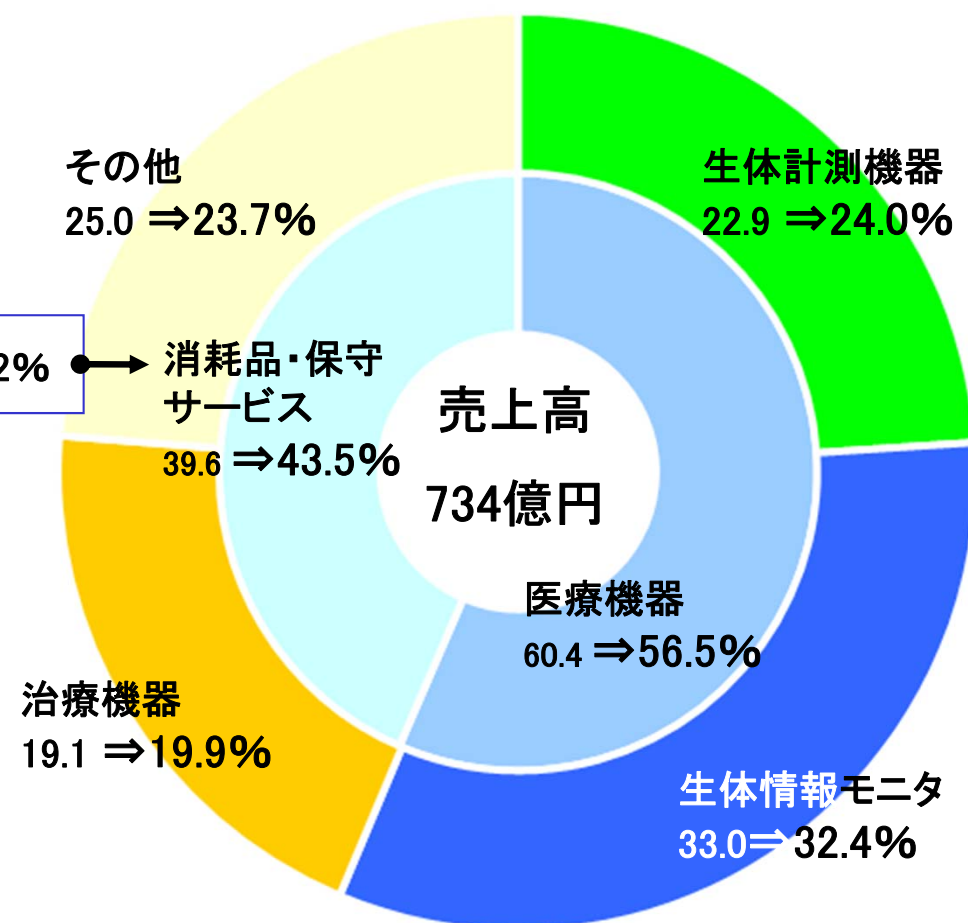


3) 商品群別売上高

(億円)



商品群別売上構成比
(2014/9⇒2015/9)



3.1) 生体計測機器

(単位: 百万円)

	前第2四半期 累計(2014/9)	当第2四半期 累計(2015/9)	増減率(%)	(参考) 比較可 能ベース
脳 神 経 系 群	4,480	3,812	△ 14.9	△ 0.3
心 電 計 群	3,331	3,405	2.2	
心臓カテーテル検査装置群	4,501	5,313	18.0	
その他(診断情報システム等)	4,200	5,080	20.9	4.6
生 体 計 測 機 器 合 計	16,514	17,611	6.6	
う ち 国 内 売 上 高	12,756	13,213	3.6	
う ち 海 外 売 上 高	3,757	4,397	17.0	

【国内】前年同期を下回る
【海外】区分変更の影響を除けば増収

【国内】前年同期を下回る
【海外】欧州、アジア州で好調

【国内】電極カテーテルの売上が伸長。
新商品も寄与

※その他には、診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。米国販売子会社ERP導入に伴い、2016/3期から、従来「脳神経系群」に区分していた現地インストール品(2014/9売上高約6億円)を「その他(診断情報システム等)」に区分しています。



脳波計 EEG-1250



心電計 ECG-2300

New!



臨床用ポリグラフ RMC-5000

3.2) 生体情報モニタ

(単位: 百万円)

	前第2四半期 累計(2014/9)	当第2四半期 累計(2015/9)	増減率(%)
生体情報モニタ合計	23,797	23,804	0.0
うち国内売上高	16,446	14,669	△ 10.8
うち海外売上高	7,351	9,135	24.3

前年同期の私立病院市場における
需要の反動もあり、減収

・米州、欧州、アジア州の全ての
地域で好調
・新商品も寄与



ベッドサイドモニタ
CSM-1901

New!



新興国向け
ベッドサイドモニタ
SVM-7500シリーズ

New!



バイタルサインテレメータ
GZ-130P

New!



SpO₂
プローブ



CO₂測定用
酸素マスク



心電図
電極

消耗品関連

3.3) 治療機器

(単位: 百万円)

	前第2四半期累計 (2014/9)	当第2四半期累計 (2015/9)	増減率(%)
医科向け除細動器	2,343	2,640	12.7
A E D	6,037	6,951	15.1
ペースメーカー・ICD	1,513	1,431	△ 5.4
人工呼吸器	679	644	△ 5.1
その他	3,166	2,977	△ 6.0
治療機器合計	13,739	14,645	6.6
うち国内売上高	10,496	10,348	△ 1.4
うち海外売上高	3,243	4,296	32.5
(参考)AED販売台数	39,300	42,900	9.2
うち国内販売台数	24,600	25,300	2.8

【海外】米州、欧州、アジア州の全ての地域で好調

【国内】増設・更新需要の取り込みにより販売台数増



【海外】全ての地域で好調
デフィブテック社製、日本光電製ともに好調

【国内】人工内耳の仕入先変更の影響もあり減収



除細動器
TEC-5600シリーズ



AED-2150



心臓ペースメーカー
Zenex MRI



人工呼吸器
HAMILTON-C1



New!
麻酔器
Leon plus

3.4) その他

(単位: 百万円)

	前第2四半期累計 (2014/9)	当第2四半期累計 (2015/9)	増減率 (%)
検体検査装置	4,203	5,073	20.7
画像診断装置、研究用機器他 ※	13,767	12,363	△ 10.2
その他合計	17,971	17,437	△ 3.0
うち国内売上高	15,996	15,053	△ 5.9
うち海外売上高	1,974	2,383	20.7

【国内】診療所市場で血球計
数器、臨床化学分析装置が
好調

【海外】アジア州で
血球計数器・試薬が増収。
特にインド、中近東が好調

【国内】自社商品の販売強化
策により、現地仕入品が減収

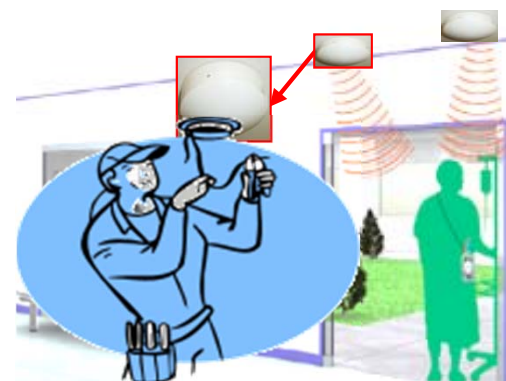
※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。2014年9月に変成器事業を譲渡いたしました。



全自動血球計数器
MEK-6500



臨床化学分析装置
CHM-4100

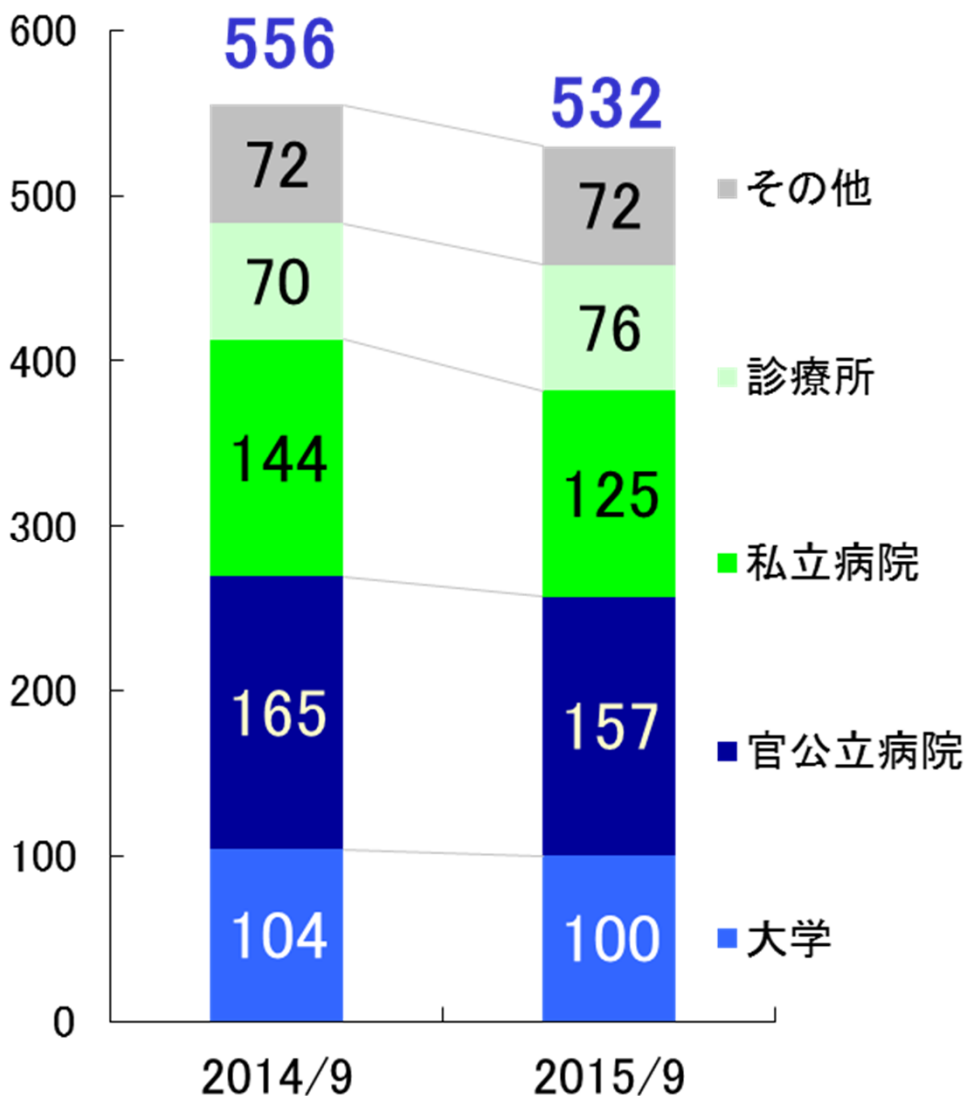


設置工事・保守サービス

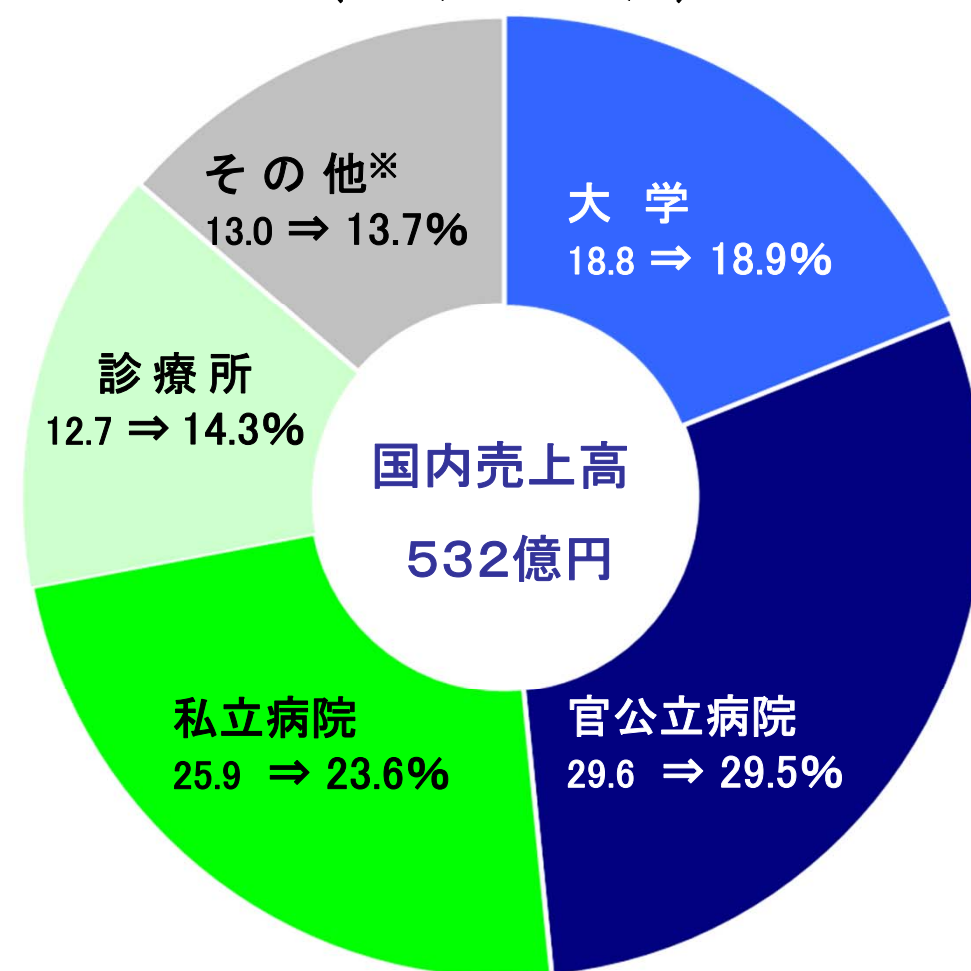
4) 国内売上高

【市場別売上高】

(億円)



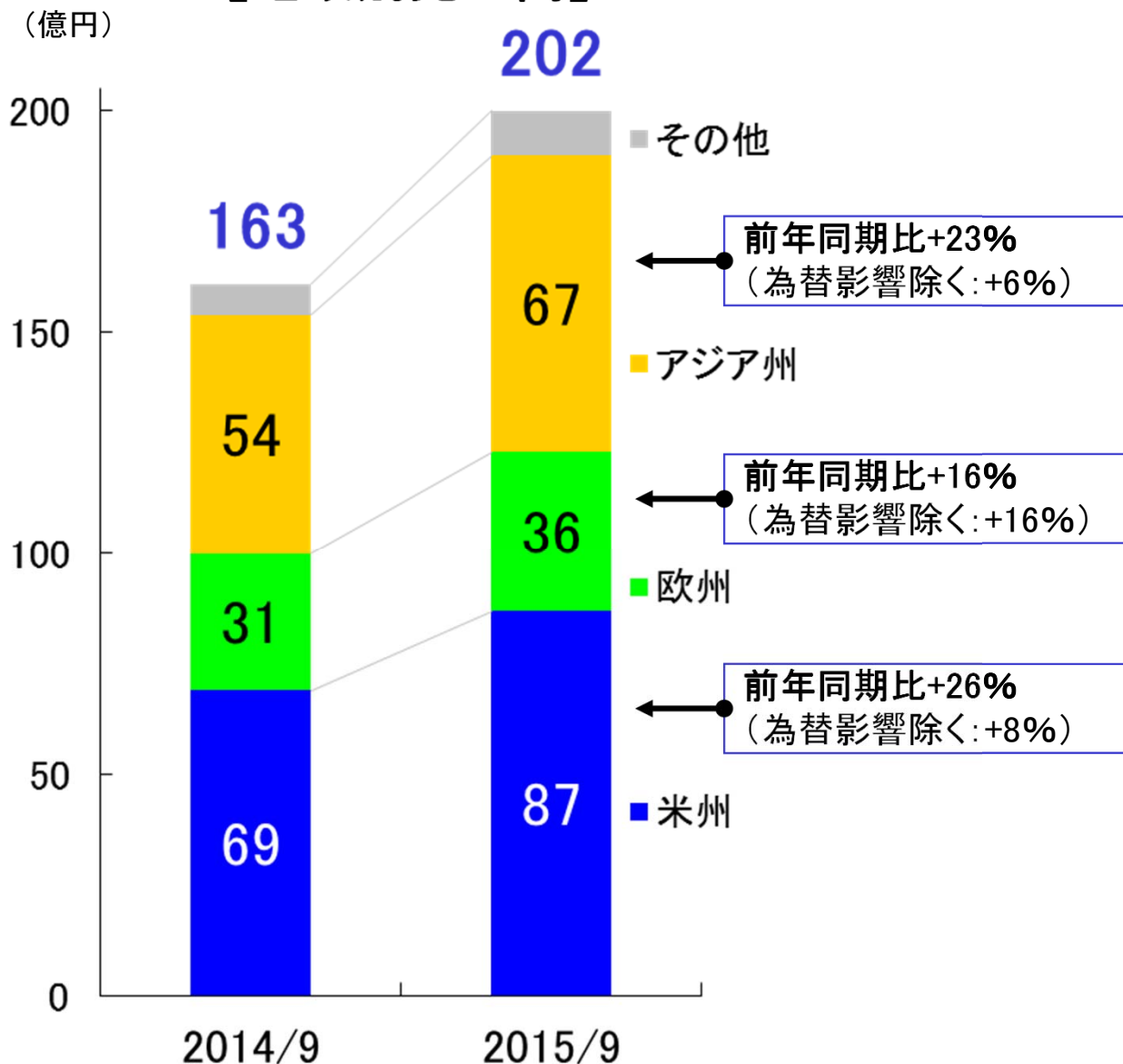
市場別売上構成比
(2014/9⇒2015/9)



※その他には、研究所、動物病院、消防など行政機関のほか、AED納入先である学校や民間企業を含みます。

5) 海外売上高

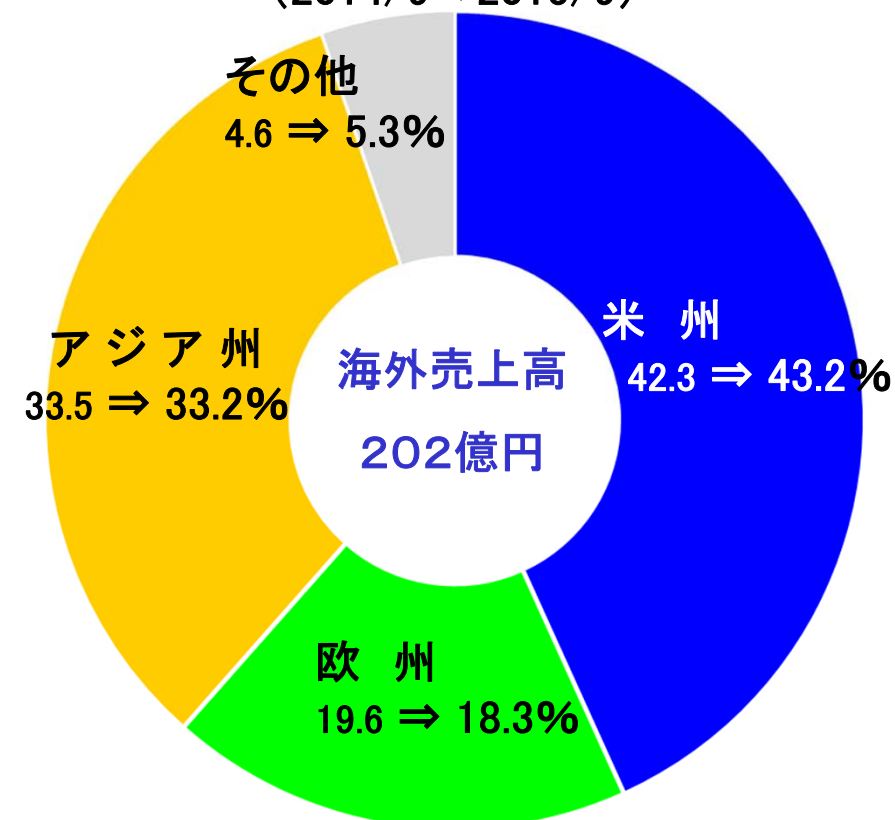
【地域別売上高】



海外売上高比率

2014/9	2015/9
22.7%	27.5%

地域別構成比
(2014/9⇒2015/9)



6) 財政状態

(単位: 百万円)

	前期末 (2015/3)	当第2四半期末 (2015/9)	増減額
流動資産	118,389	104,529	△ 13,859
固定資産	28,366	28,812	446
資産合計	146,755	133,342	△ 13,413
流動負債	45,654	32,570	△ 13,083
固定負債	1,797	1,505	△ 292
負債合計	47,451	34,076	△ 13,375
純資産	99,304	99,265	△ 38
負債・純資産合計	146,755	133,342	△ 13,413

7) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円)

	前第2四半期 累計(2014/9)	当第2四半期 累計(2015/9)	2015/3 前期実績	2016/3予想	
				期初	11月4日修正
設備投資額	1,664	2,873	5,158	9,600	8,600
減価償却費	1,574	1,596	3,445	4,200	3,400
研究開発費	2,798	2,616	5,745	6,400	6,100

●設備投資の上期実績

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備、所沢 総合技術開発センタの建設

●2016/3期計画における主な案件

新製品の「型」投資、工場生産設備、販促用製品、ERPシステム

所沢 総合技術開発センタの建設 { 着工:2015年4月
完成・移転:2016年夏 2016/3:35億円
設備投資額:72億円 < 2017/3:37億円

朝霞 事業所の建設(免疫試薬部門の移転) { 着工:2016年2月(予定)
完成・移転:2016年冬 2016/3:1億円
設備投資額:約11億円 < 2017/3:10億円



通期の業績見通し

1) 経営環境

国内

2025年医療・介護の将来像

- ・医療の機能分化・強化と連携
- ・在宅医療・介護の推進
- ・地域包括ケアシステムの構築

・2014年4月 診療報酬改定 0.1%増
消費税引き上げ

・地域医療介護総合確保基金

2015年度1,628億円(医療904/介護724)

各都道府県は、地域医療構想を策定
(法律上は2018年3月までだが2016年半ばまでが望ましい)

環境変化を受け、病院の設備投資は抑制傾向

海外

欧州

- ・景気は緩やかな回復基調

米国

- ・医療保険制度改革により保険加入者が増加

新興国

- ・一部地域で景気減速や通貨安の影響懸念
- ・経済発展に伴う医療インフラ整備

医療機器の需要は堅調に推移

2) 下期の取り組み

国内事業の回復

- ・生体情報モニタ事業の強化
 - ・大学、官公立病院市場での大口商談獲得
 - ・競争力の高い商品の投入、機能追加による付加価値向上
- ・医療制度改革に対応した事業展開
 - ・地域医療連携→私立病院、診療所市場への注力
 - ・15/10医療事故調査制度開始→医療安全に寄与する商品・サービスの提供

引き続き収益改善に向けた取り組みを強化

- 消耗品・保守サービス売上の拡大
 - ・SpO₂、CO₂センサなど自社製消耗品の販売に注力

開発から生産に至るまでのコストダウン

- ・主力機種・センサのコストダウン:工数・資材調達費の削減
- ・開発効率の向上:共通技術開発の集約、設計文書の標準化
- ・生産効率の向上:検査の自動化、1人→多人数分割セル生産への移行

グループ全体で経費コントロールを強化

海外の事業基盤強化など将来の成長に必要な投資を行いつつ、各社・各部門での経費進捗管理を徹底

3) 通期の業績見通し

(単位: 百万円)

	2015/3 前期実績	2016/3予想 期初	11月4日修正	増減率 (%)
売上高	160,803	172,000	167,000	3.9
国内売上高	122,490	126,000	121,000	△ 1.2
海外売上高	38,313	46,000	46,000	20.1
営業利益	15,921	18,000	16,500	3.6
経常利益	17,234	18,000	16,800	△ 2.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,142	12,100	10,700	△ 4.0

海外売上高比率 23.8% 26.7% 27.5%

平均レート

1	ドル	109.6円	118円	121円
1	ユーロ	139.4円	125円	135円

【地域別海外売上高】

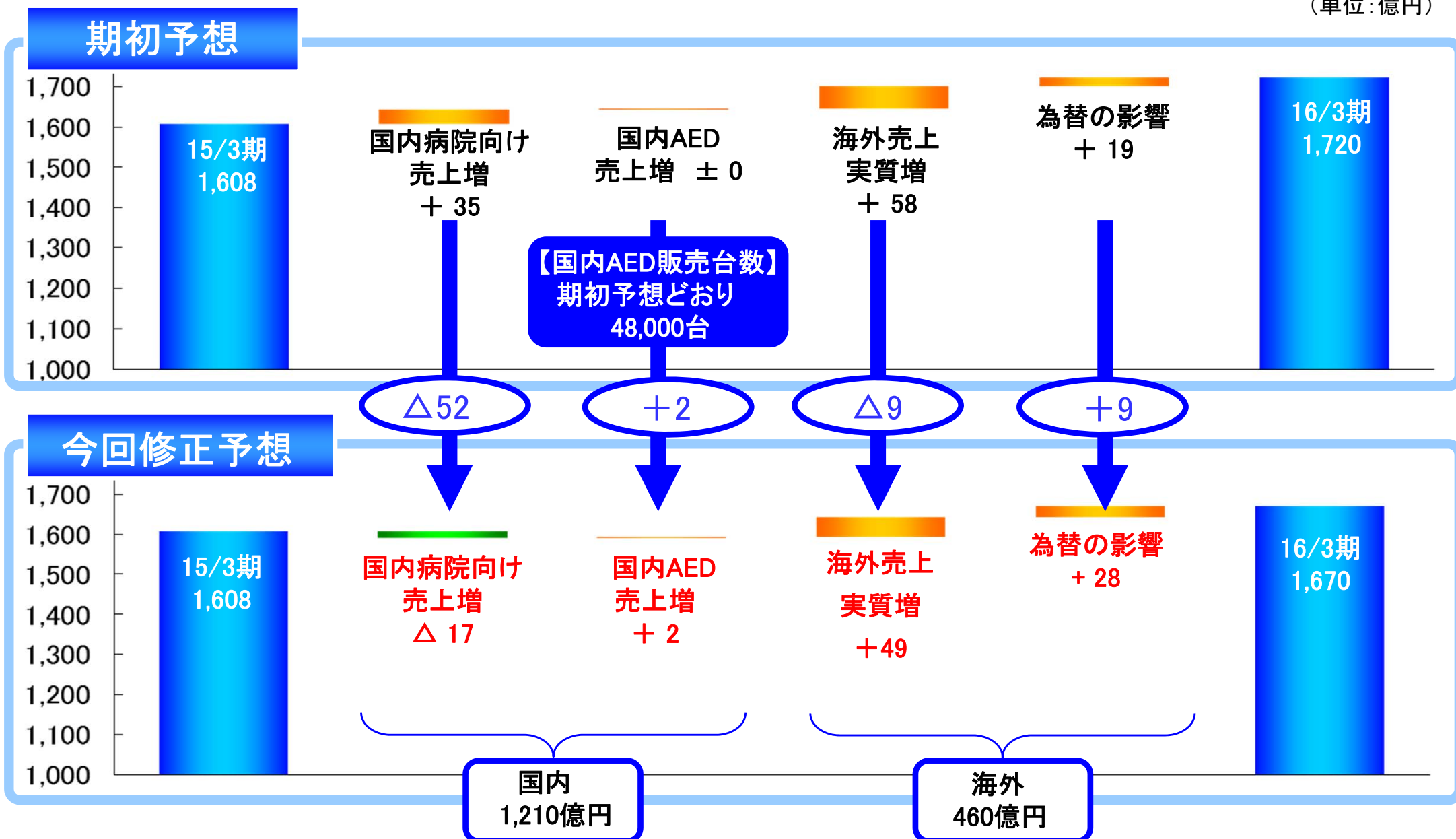
	2015/3 前期実績	2016/3予想 期初	11月4日修正	増減率 (%)
米州	16,423	20,000	20,300	23.6
欧州	7,495	7,700	8,300	10.7
アジア州	12,581	16,100	15,200	20.8
その他	1,813	2,200	2,200	21.3

(下期)

120円
135円

4) 売上見通しの要因分析

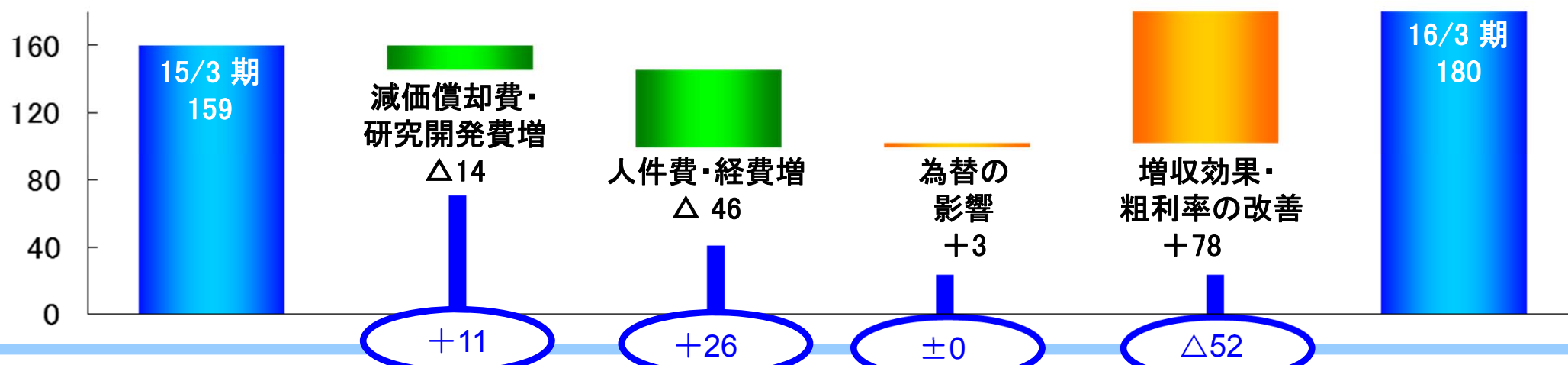
(単位: 億円)



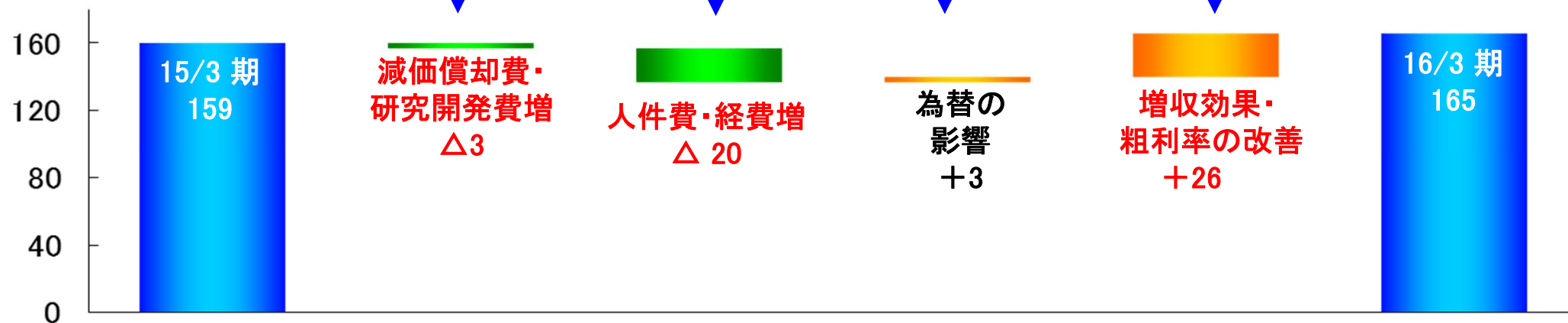
5) 営業利益見通しの要因分析

(単位: 億円)

期初予想



今回修正予想



[参考]商品群別売上高見通し

(単位:百万円)

	2015/3 前期実績	2016/3予想		増減率(%)
		期初	11月4日修正	
生 体 計 測 機 器	37,180	40,400	40,100	7.9
生 体 情 報 モ ニ タ	53,068	59,050	56,000	5.5
治 療 機 器	29,393	32,050	31,900	8.5
そ の 他	41,160	40,500	39,000	△ 5.2
売 上 高 合 計	160,803	172,000	167,000	3.9

(ご参考)

消 耗 品 ・ 保 守 サ ー ビ ス	61,426	65,750	68,300	11.2
---------------------	--------	--------	--------	------



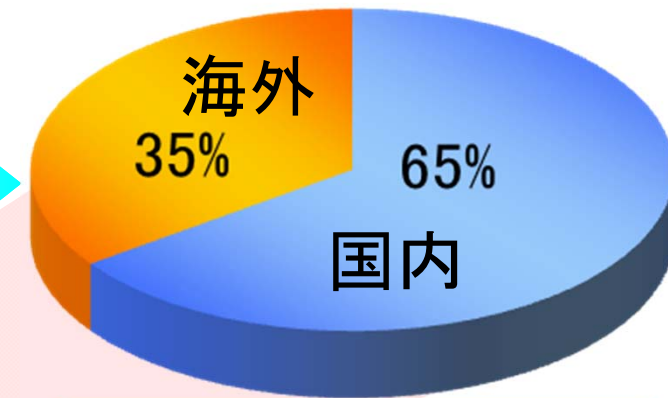
当社の経営戦略

1) 長期ビジョンと中期経営計画

長期ビジョン (2010/4～2020/3)

The CHANGE 2020

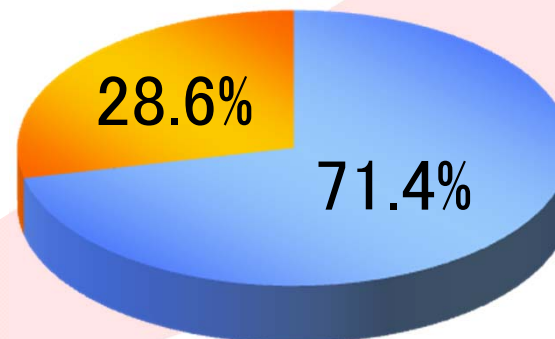
—The Global Leader of Medical Solutions—



第2ステージ

Strong Growth 2017

(2013/4～2017/3)



2020年3月期

売上高 2,000億円以上

営業利益 250億円以上

営業利益率 12.5%

第1ステージ

SPEED UP III

2013年3月期

売上高 1,325億円

営業利益 134億円

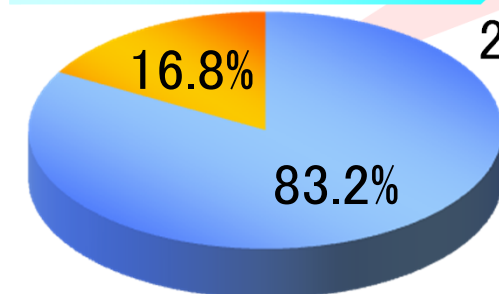
営業利益率 10.2%

2017年3月期

売上高 1,820億円

営業利益 200億円

営業利益率 11.0%



2) 中期経営計画 数値目標

	2013/3 実績	2016/3 見通し	2017/3 中期経営目標	4年間の 平均成長率
売上高	1,325 億円	1,670 億円	1,820 億円	8.3%
国内売上高	1,102 億円	1,210 億円	1,300 億円	4.2%
海外売上高	223 億円	460 億円	520 億円	23.5%
営業利益	134 億円	165 億円	200 億円	10.4%
ROE	12.7%		13.5 %	

地域別海外売上高

為替の前提: 1ドル118円/1ユーロ125円

米州	80 億円	203 億円	226 億円	29.3%
欧州	56 億円	83 億円	87 億円	11.6%
アジア州	75 億円	152 億円	182 億円	24.6%
その他	10 億円	22 億円	25 億円	24.0%

3) 中期経営計画 重要課題

世界トップクオリティの追求

グループ全部門の
全ての活動で品質を確保

技術開発力の強化

地域別事業展開の強化

コア事業のさらなる成長

新規事業の創造

企業体質の強化

グローバル化・効率性/収益性・スピード
を追求した経営

4) 2016年3月期の取り組み

①コア事業のさらなる成長

2015/3期、2016/3期発売の主な商品

臨床検査機器事業

脳神経系群



術中神経機能
モニタリング装置
MEE-2000
2015年発売
(米国)

循環器検査機器群



臨床用ポリグラフ
RMC-5000
2015年発売
(国内)



血球計数器
2016年
発売予定

検体検査機器



高DNA量
測定装置
FCM-2200
2015年発売
(国内)

生体情報モニタリング事業



バイタルサイン
テレメータ
GZ-130P
2015年発売



新興国向け
ベッドサイドモニタ
SVM-7500シリーズ
2015年発売



救急車搭載
モニタ
2016年
発売予定

センサ技術



除細動器
TEC-5600シリーズ
2014年発売



救急車搭載
除細動器
2016年
発売予定



AED-3100
2015年発売



自動心臓
マッサージ装置
2016年
発売予定

治療機器事業

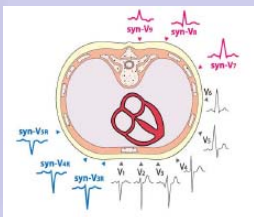
ITソリューション

消耗品・サービス事業

4) 2016年3月期の取り組み

①コア事業のさらなる成長

導出18誘導心電図



標準12誘導心電図のデータをもとに
右側胸部と背部の6誘導を
演算により導出

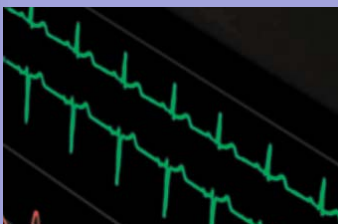


esCCO

心拍出量の非侵襲・連続モニタリング
心電図とSpO₂を使って推定

※ esCCO : estimated Continuous Cardiac Output

不整脈解析



不整脈検出率の向上、
誤アラームの低減を
実現

日本光電
独自の
センサ技術

早くてやさしい血圧測定

iNIBP



※ NIBP : 非観血血圧

SpO₂



SpO₂を測定するパルスオキシメータの
原理を世界に先駆けて開発

cap-ONE

ORAL NASAL EXPIRATION

etCO₂



CO₂測定用
酸素マスク
2015年発売



CO₂モニタ
2016年
発売予定

世界最小・最軽量クラス
メインストリーム方式
CO₂センサ

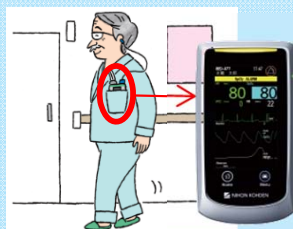


生体情報モニタリング事業

シームレスな患者ケアを実現

【一般病棟】

携帯型モニタ



バイタルサイン
テレメータ
GZ-130P
2015年発売

ベッドサイドモニタ



BSM-3000シリーズ



PVM-2700 シリーズ



iNIBPプログラムの追加
2015年度追加予定

独自センサ技術による
付加価値向上

【院内搬送】

搬送用モニタ



BSM-1700
シリーズ

【ICU】

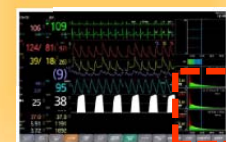


【手術室】

最上位機種 ベッドサイドモニタ



CSM-1901



麻酔管理に役立つ薬物
動態シミュレーションの追加

2015年追加

診断サポートによる
付加価値向上

【院内・院外】

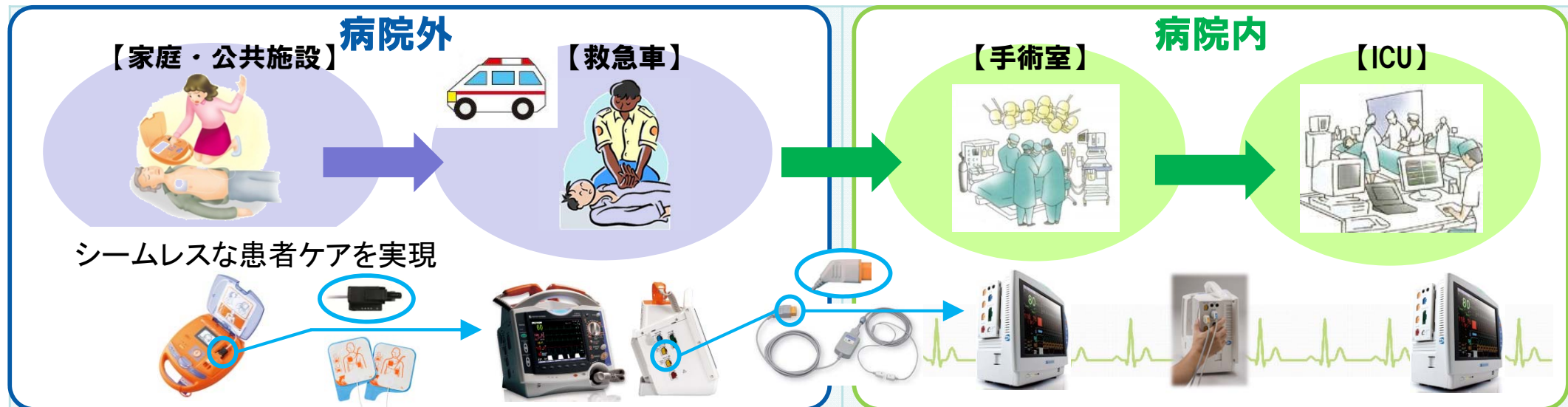
モバイルビューワ



ViTrac

治療機器事業

サイト別に生体情報モニタリング事業との連携を強化



AED Linkage

AEDリモート監視システム

New!



小型軽量化
AED-3100
2015年発売

自動心臓
マッサージ装置



2016年
発売予定



救急車搭載
除細動器



救急車搭載
モニタ



麻酔器

2015年発売
(国内)

ハイン・レーヴエンシュタイン社製

アコマ社
と
共同開発

人工呼吸器



ハミルトン社製



メラン社製

米カリフォルニアに
人工呼吸器の開発拠点設立

会社名 OrangeMed, Inc
従業員 9名(2015年10月)

検体検査機器

新商品の投入

血球計数器

最上位機種 血球計数器



MEK-6500シリーズ



MEK-7300



2016年発売予定

臨床化学分析装置



CHM-4120
CRPを測定



CHM-4100
HbA1cとCRP
を測定

新たな領域の開拓

術中迅速病理診断における課題

- ・判定に主観が入り定量化が難しい
- ・病理医が足りない
- ・診断に時間がかかる(約20分)

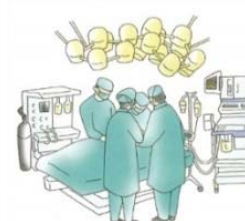


東京女子医科大学との
産学共同研究

神経膠腫※摘出手術の 術中迅速フローサイトメータを開発

①組織摘出

組織片



New!

②**10分で**
高DNA量細胞
比率を算出

高DNA量測定装置 FCM-2200

②地域別事業展開の強化

日本: 2025年医療・介護の将来像に合ったソリューションの構築

急性期病院

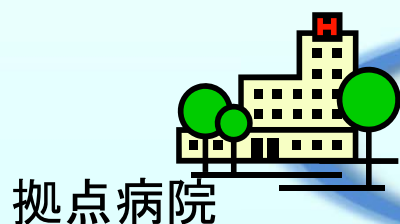
地域包括ケア病棟
回復期リハビリテーション

診療所

在宅ケア

病棟再編や機能の充実に対応した商品・サービスをご提案

システム



拠点病院

急性期 Prime Vita Plus



回復期

中小病院
Prime Creat

慢性期



診療所
Prime Linc

競争力の高い新商品・新機能の投入

治療機器



2016年
発売予定



CSM-1901
薬物動態シミュレーション追加

生体情報モニタ



医用テレメータ
2016年発売予定

在宅ケアに対応した新規事業の推進

■ 遠隔医療支援システムの開発
2016年度以降発売予定



 **SUKOYAKA®**

■ ひとり暮らし高齢者向け
健康みまもりサービス
2015年度
発売予定



先端医療をリードするアメリカにおけるプレゼンスの確立

公共施設

販売組織の再編により
3事業の連携、
クロスセリングを強化

中規模病院

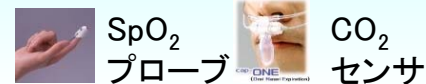
脳神経系群

・全米トップ50病院に注力



生体情報モニタ

- ・GPO/IDN対策強化※1→大手IDN・大学病院での商談増
- ・36四半期顧客満足度No.1の継続※2
- ・消耗品売上の拡大



救命救急分野

defibtech



2016年発売予定

日本光電アメリカが
デフィブテック社製AEDを病院に販売

生体情報モニタ市場シェア10%以上を目指す

※1 GPO: Group Purchase Organization グループ購買組織 IDN: Integrated Delivery Network 総合医療ネットワーク

※2 米国の医療機関に対して、第三者評価会社MD Buylineが実施した調査結果

成長をけん引する新興国市場でのシェア拡大

事業基盤の強化

中国

- ・開発・生産・販売・サービスが一体となった事業展開



民間病院市場に注力

アジア・中近東・中南米

販売・サービスの現地化

【販売拠点】

アジア州：中国、シンガポール、タイ、マレーシア、インド、アラブ首長国連邦、韓国

中南米：コロンビア、ブラジル



主要国に現地駐在員を配置

(2015年度内順次)

市場に合わせた商品戦略

日本製品

ハイエンド市場



- ・AED-3100発売
- ・韓国、台湾でAEDリモート監視システム発売

上海製品

ミドル&ローエンド市場



2016年
発売予定

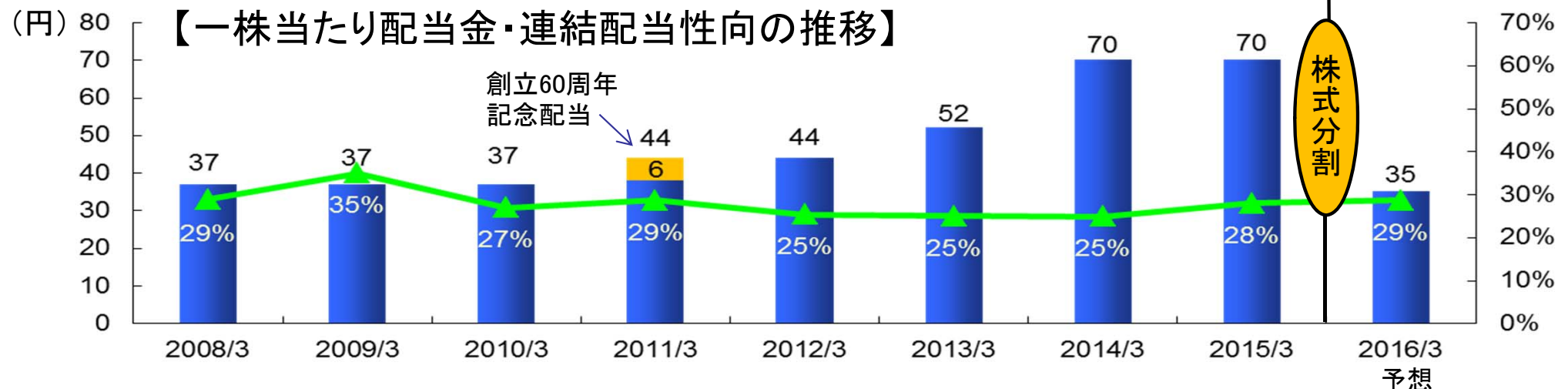


マレーシアで生産開始 2015年9月

【基本方針】

5) 株主還元策

- 研究開発や設備投資、M&A、人財育成など将来の企業成長に必要な内部留保の確保に配慮し、長期に亘って安定的な配当を継続
- 株主還元は、配当を重視し、連結配当性向30%以上を目標
- 自己株式の取得は機動的に検討



注) 2015年4月1日を効力発生日として株式1株につき2株の株式分割を実施
2015年3月期までの数値は、株式分割前の実際の配当金の額を記載

自己株式の消却・取得状況

5/20 180万株を消却 + 6/2 20万株を取得

自己株式保有: 207万株
(持株比率: 2.3%)

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】経営企画室

【連絡先】TEL03-5996-8003